



ハッピーテラス通信

令和4年5月号（5月2日発行）

ハッピーテラスキッズ柏ルーム

04-7193-8205

kids-kashiwa@happy-terrace.com

新型コロナウイルスの感染が再度拡大しております。
ハッピーテラスでは、引き続き感染対策に十分に努めて参ります。

- * 保護者様見学スペースに、モニターを設置しました
皆様からご意見お待ちしております！



↑このように見えます！

- * 保護者様アンケートのご回答ありがとうございました。
いただいたご意見は、今後の教室運営に活用させていただきます。
ご意見についての、回答をホームページに掲載いたしました。
是非、ご覧いただければと存じます。

https://happy-terrace.com/event/kids_kashiwa_20220411/



↑ホームページにジャンプします。

- * 職員からの推薦図書

題名 「ぼうしとったら」

著者名 tupera tupera

参考価格 1,045円(Amazon)

推薦者 木村 摂子(柏II教室)



「カウボーイやコックさん、マダムのぼうしをとったら… なにが出てくるかは、ぼうしをとってのお楽しみ！キャラクターのイメージに合ったものや、意外なものがあって、子どもたちが大喜びの1冊です。

* おうちでキッズコーディネーション！

～てるてるキャッチ～

難易度★★★★☆

- ねらい
- ・手先や足先、道具を使いこなす
 - ・すばやく正しく反応する
 - ・周りや人のものと、自分の位置の関係をつかむ

- 準備物
- ・ハンカチやハンドタオルなどの角を結んで作ったてるてる坊主を使用します。

- 進め方
- ① 保護者と子どもは、正対して立ちます。子どもは、手を肩幅くらいに広げて、前に出します。
 - ② 保護者は、手にしたてるてる坊主を上にあげ、合図とともに落として、子どもはてるてる坊主をキャッチします。
 - ③ 慣れてきたら、合図をせず、いつ落ちてくるかわからないドキドキ感を加えましょう。子どもは、下で手のひらをおわん形にして受け止めず、パチンとはさんで受け止めるようにしましょう。

★ 幼児の場合は、胸の前あたりで手を開いて待っておいもらい、その少し上から落とすことで、最初はキャッチしやすくして練習をしましょう。慣れてきたら少し高いところから落として、難易度を上げましょう。

動画のQRコードはこちら！

YouTubeに参考動画をあげています。ぜひご活用ください。

本トレーニング動画は、YouTubeにてハッピーテラスのご利用者様に対し、限定公開されたものです。ハッピーテラスのご利用者様以外の方にURLをお知らせされないようにお願いいたします。



* 5月の追加ご利用可能日程

追加でご利用希望がございましたら、スタッフまでお問い合わせください

(記号：○・・・空きがございます △・・・若干名の空きがございます)

日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
柏ルーム	/	○	/	/	/	○	△	/	○	○	○	○	○	△	/

日付	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
柏ルーム	○	○	○	○	○	△	/	○	○	○	○	○	△	/	○	○

* 療育コラム 「お子様の視点から考えてみる声掛け」

皆様の中には「〇〇さんは視覚優位なので～」や「聴覚優位の場合には～」という具合に【視覚優位】や【聴覚優位】という言葉を用いたお子様の説明を聞いたことのある方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

今回は、そんな2つの優位について、改めて、触れていきたいと思います。

まず、お話の前提として、人間が外部の刺激から情報を取り入れる際は、視覚や聴覚を用いて認識と処理をしています。

言うなれば、この世界に生きている人間はみんな【視覚優位の人】か【聴覚優位の人】ということになります。

そのため【視覚優位】にしる【聴覚優位】にしる、決して療育機関に限って使われる言葉では無いのです。

では、何故、療育機関等で使われるケースが多いのでしょうか。

その疑問への答えは、療育を必要とされる方は、この優位の程度が、そうでない方と比べて、良くも悪くも極端に表れやすい傾向をお持ちだからです。

話を戻しまして、そもそもの視覚情報処理と聴覚情報処理、それぞれの特徴について以下に記載します。

◆視覚情報処理

目で見て取り入れた空間的・視覚情報を解析、理解、記憶する情報の処理。

こちらがお得意な方が視覚優位の人。

◆聴覚情報処理

耳から聞いて取り入れた、音や言葉などの聴覚的情報を解析、理解、記憶する情報の処理。

こちらがお得意な方が聴覚優位の人。

となります。

最後に、視覚優位の人と聴覚優位の人によく見られる特徴をまとめておきます。

◆視覚優位の人の特徴

暗記をする時、表や人の写真、図などの視覚的な情報での補助があると暗記がしやすい。文章を読み解く際、話の内容を絵に描いたり、図示したりすると理解がしやすい。

◆聴覚優位の人の特徴

音とリズムをつけると暗記がしやすい。

文章を読み解く際、見るよりも読んでもらう方が理解しやすい。

このように、どちらの優位の人にも、情報の取り入れや、取り入れた情報を保持する際に、より取り組みやすい方法が存在しております。